

平成28年度 タイ王国ボランティア交流研修

【第24回 国際交流タイボランティア活動】

(1) 参加者

◎リーダー、○サブリーダー、●団 長

生徒：◎印出井 太喜（情報技術科3年）、熊倉 優太（機械科3年）、館野 元伸（電子科3年）
○池田 光佑（電子科3年）、富田 颯（電子科3年）、塩濱 宏紀（情報技術科3年）
中村 玲音（機械科2年）、山根 海飛（機械科2年）、柏崎 倫（情報技術科2年）
鈴木 秋仁（機械科1年）、瀬戸口明日花（機械科1年）、大出 康平（電気電子科1年）
引 率：●湯澤 修一（校長）、高田 真史（電気科）、三浦 良暁（電子科）

(2) 活動期間と訪問地

- ① 期 間：平成28年12月10日（土）～18日（日）
- ② 訪問地：タイ王国 文化歴史：プーケット及びクラビー、バンコク
修理活動：クラビー病院
企業訪問：(株)キャム（アマタナコン工業団地）
学校訪問：クラビーテクニカルカレッジ



(3) これまでのタイ王国ボランティア交流研修

- 1991年 2月 創立30周年記念事業として『国際交流タイボランティア活動』がスタート
- 1993年 1月 車いす修理活動と車いす贈呈を開始
- 2015年 1月 新たなプログラムとして日系企業訪問を加える

(4) 空飛ぶ車いす

- 1992年 アジアの問題を考える会より提案を受け、「車いすをアジアの国々へ贈る運動」に着手。使われなくなった車いすを本校で修理し、必要とする海外へと船便で送る。
- 1999年 必要とする障害者施設や障害を持つ方々に、より早く役立たせてもらいたいと考え、空輸により送り届ける「空飛ぶ車いす」活動がスタート。

☆日本社会福祉弘済会支援のもと「空飛ぶ車いす」活動の取り組みは全国へと広まり、現在では全国28都道府県85校の学校と社会人グループ4団体にて取り組んでいる。
本校ではこれまで、世界22ヶ国に2,023台の車いすをプレゼント。

(5) タイ王国について



赤…国家
白…仏教
青…王室
を表す



首都：バンコク

人口：約 6500 万人

主要語：タイ語

時差：-2 時間

通貨：バーツ Baht

国土のほぼ全域が熱帯モンスーン気候で、年間を通じて気温が高い。1年は暑季・雨季・乾季の3つのシーズンに分けられ、研修期間である12月は乾季であるため、ほとんど雨が降らず気候が安定している。

(6) 歴史文化研修

プーケットは「アンダマン海の真珠」と讃えられる美しい海とビーチで有名。昔はスズの産地として中国やインドへ向かう欧米諸国の船の中継地として栄えたらしく、プーケットの歴史が色濃く残るプーケット・タウンでは、中国とポルトガル様式のコロニアル建築がとても印象的であった。

クラビーでは、アンダマン・アート・ミュージアムに赴き、多種多様な石が採掘されることで有名であったクラビーの歴史について学び、その他にもワット・ケオ・コラワラムや鍾乳洞の見学をした。

バンコクでは最古の寺院であるワットポーを訪れ、体長 46mの大寝釈迦仏を見学、併せてチャオプラヤー川を船で渡り、ワットアルンなどを見学することができた。



(7) 車いす修理活動

バンコクの南西へ約800kmに位置するクラビー。

今回はクラビー病院にて、車いす修理活動を実施。本校生2～3人に現地タイの学生1人を加えてグループを作り、計5グループにて作業を開始。錆落としやタイヤ交換、ブレーキやフットレストの取り付けや調整など総合的なメンテナンスを行った。その中でも特に苦労した活動内容は下記の5点である。

- ① 錆落とし（日本では考えられないほどの錆）
- ② ブレーキの取り付け（ブレーキの固定箇所破損）
- ③ フレームの溶接加工
- ④ シートの破れ修復（裁縫）
- ⑤ サイズの異なる部品の調達及び加工

今回、現地タイの学生と共にグループを組み修理活動を行ったことで、コミュニケーションの大切さを学ぶことができた。はじめは戸惑いもあったが、自ら積極的にタイ語帳や片言の英語、そしてボディランゲージを使って話しかけることで、親睦を深めることができた。その結果、作業効率も上がり3日間で17台の車いすを修理することができた。



(8) 車いす贈呈式

車いす贈呈式では、修理の終えた車いすに加え、日本から持参した12台の車いすを贈呈。今年もユーザーの利便性を考え、車いすを手渡す際にフットレスト等の各調整を行った。ユーザーの方々から感謝の言葉を頂き、達成感と感動を味わうことができた。タイに送り届けた車いすが800台を超え、本校とタイとの繋がりの深さを改めて感じる事ができた。



(9) 交流会・文房具贈呈

プミポン国王が崩御され、一年間喪に服することとなったタイ国内。例年では交流会の際に歌を共に歌っていたが、今年はマジックを披露し入院患者の子供たちを元気づけた。また、文房具セット及び風船をプレゼントするなど、子供たちの驚きの顔と笑顔でとても楽しい時間を過ごすことができた。



(10) クラビーテクニカルカレッジ訪問

車いす修理を共に行ったタイの学生たちが通う学校を訪問することができた。学校内容とクラビーについての説明を受け、その後授業（実習）風景を見学させて頂いた。自動車パーツの分解・組み立てやCADなど真剣に学ぶ姿勢に刺激を受けた。また、休み時間には籐製のボールをみんなで蹴り楽しむ姿に国民性を感じた。



(11) 日系企業訪問

グローバルな人材育成を目的としたこのプログラム。私たちは㈱キャムを訪れた。ここでは精密プラスチック金型及び成形品の製造と販売を行っている。生産過程を見学させて頂き、工場内における衛生環境や生産ラインなどの説明はもちろん、懇談会では海外勤務におけるやりがいや苦労話など、いろいろなことを学ぶことができた。さらに、社員食堂にて昼食をご馳走になった際には、テーブルごとに懇談会では聞くことのできなかつた何気ない会話で盛り上がり、とても充実した時間を過ごすことができた。



(12) 活動のまとめ

私たちは今回のタイ王国ボランティア交流研修にて、コミュニケーションをとることの大切さを改めて知ることができた。現地タイの学生と共に修理活動を行うことで、必然的にコミュニケーションをとる機会が得られ、自ら積極的に行動していくことの必要性を感じることができた。バンコクに発つとき、一緒に修理活動に励んだタイの学生たちがクラビー空港まで見送りに来てくれ、別れを惜しみあった。短い期間だったが、互いに関係を深められたことを嬉しく思う。

今回、私たちがタイで経験した貴重な体験をこれからの人生に活かすとともに、この素晴らしい活動について、本校生徒をはじめ多くの人たちに広めていきたい。



(13) 最後にご支援・ご協力いただきました多くの方々に感謝いたします

- ・ホルト・サハタイ財団（サイワルーン 氏、パンニー 氏、スパワディー 氏）
- ・タイコン・インダストリアル・コネクション(株)
- ・栃木西ロータリークラブ
- ・国際ソロプチミスト栃木
- ・栃木市社会福祉協議会
- ・（公財）日本社会福祉弘済会
- ・栃木県教育委員会
- ・栃木工業高校同窓会
- ・栃木工業高校 PTA

～ 事前研修 ～

【タイ語指導】久保 哲夫 氏

【車いす修理活動および交流会】

介護老人保健施設 とちぎの郷

